

単元名

# より良い社会を目指して

## 1 単元のねらい

持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を

探求し、自分の考えを表現することができる。

## 2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 の 評 価 規 準	<p>持続可能な社会について考え、これまでの公民的分野での学習を踏まえて、理解を深めている。</p> <p>環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術等に関わる課題を解決することが、持続可能な社会の形成に必要であることを理解している。</p>	<p>社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。</p>	<p>私たちがより良い社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く学習に取り組み、主体的に関わろうとしている。</p>

●学習改善につなげる評価 ○評定に用いる評価

	1	2	3	4	5	6
知識・技能			●	○		
思考・判断・表現					●	○
主体的に学習に取り組む態度	●	●				○

3 単元構造図（全6時間） ☆獲得する認識

より良い社会  
を目指して

単元学習前の生徒の意識

第1時 探究テーマの設定 【●態度】

持続可能な社会の実現のために 解決すべき課題は何だろう

☆地理的分野, 歴史的分野の  
学習内容  
☆前単元までの学習内容

持続可能な社会を形成していくためには, 環境・エネルギー, 人権・平和, 伝統・文化, 防災・安全, 情報・技術等に関わる課題を解決していく必要がある。私はそういった様々な課題の中でも特に, 人権・平和にかかわって「戦争・紛争・難民問題」について調べ, 持続可能でより良い社会を形成するために自分ができる課題解決について考えをまとめていこう。

持続可能な社会の形成のために、  
私たちは何ができるのだろうか。

第2時 研究計画の作成 【●態度】

調査計画を立てよう。

5つのテーマ（教科書 P.215）の中から具体的な課題を決め, 単元の学習の見通しをもつことができた。

第3～4時 調査, 情報整理【●○知識・技能】

調査し, 収集した情報を整理しよう。

テーマの中で設定した具体的な課題について情報収集することができた。視点ごとに整理することで, 疑問だった内容への理解が深まり, それらについての自分の考えをつくることができた。

第5時 レポート作成【●思考・判断・表現】

自分の主張をレポートにまとめよう。

☆世界の様々な地域の調査 ☆身近な地域の調査

地域紛争と難民について調査し, 先進国で生活する一人の地球市民として, 自分ができることについての考えをもつことができた。わかりやすく問題提起するためには, 現在の地域の紛争の件数や難民の数が分かる図を作成し, それらの紛争が起きた理由や難民の生活の現状について説明することが必要であると考えた。データだけ

第6時 レポート発表交流会【○態度 ○思考・判断・表現】

レポート発表交流会を通して 持続可能な社会の形成のために自分ができることについて考えよう

交流会を通して, 様々な課題に対して, 自分たちができる解決方法がたくさんあることがわかった。同じテーマで考えていても, 探究の視点や, 効率・公正の立場の違いによって, 生み出される解決方法もちがうことがわかり, 自分の考えもさらに深まった。それらに一つでも多く取り組んでいくことで, より良い社会を形成していかななくてはならない。

単元学習後の生徒の意識

4 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料及び指導・援助
1 探究テーマの設定	<p>持続可能な社会の形成のための課題解決への関心を高め、個人で探究するテーマを設定することができる。</p> <p>☆地理的分野, 歴史的な分野の学習内容 ☆前單元までの学習内容</p>	<p>1 地球規模で広がる問題を出し合う。 〈ブレンストーミング法〉</p> <p>2 単元を貫く課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">持続可能な社会の形成のために 私たちは何ができるのか。</p> <p>2 出し合った課題から一つ選択して、関連する社会的事象を書き出していく。 〈マッピング法〉</p> <p>3 探究テーマ案を3つ書き出し、仲間と交流し合いながら、1つに絞りこむ。 【例】地域紛争と難民</p>	<p>持続可能な社会の意義を正しく理解し、探究テーマを設定することができる。  (態度)</p>	<p>・前単元の学習を想起させる。</p>
		<p>持続可能な社会を形成していくためには、地球規模に広がる平和、人権、貧困、環境などの様々な問題を解決していく必要がある。私はそういった様々な問題の中でも特に、人権・平和にかかわって「アジア・アフリカにおける地域紛争と難民」について調査し、持続可能でより良い社会を形成するために自分ができる問題解決について考えをまとめていこう。</p>		
2 研究計画の作成	<p>個人で探究するテーマについて、研究計画を作成することで、探究に見通しをもつことができる。</p> <p>☆世界の様々な地域の調査 ☆身近な地域の調査</p>	<p>1 学習課題を確認する。 調査計画を立てよう</p> <p>2 プリントに調査計画（研究計画）を書く。 ・問題提起する社会的事象の整理 ・予備検索による資料収集の見通し ・まとめる方法の決定</p> <p>3 調査計画を交流し合い、改善を図る。</p>	<p>適切な調査方法を活用して、調査計画を立てることができる。  (態度)</p>	<p>・地理の教科書を参考に、調査方法を選択するように助言する。</p>
		<p>探究テーマを調査する視点を決め、単元の学習の見通しをもつことができた。</p>		
3 4 調査, 情報整理	<p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、視点に従って整理することができる。</p>	<p>1 学習課題を確認する。 調べた内容を整理しよう</p> <p>2 調査計画に従って調査する。</p> <p>3 調査から収集した情報を整理する。 ・社会的事象に関する事実 ・事実から読み取れることは何か。 ・探究テーマと関連付けて、考えられることは何か。 ・探究の視点ごとに整理すると、どの視点に含まれるか。 ・新たに調査が必要となったことや疑問点は何か。</p> <p>4 整理した内容を基に、レポート内容のアウトライン（論旨）を書き、仲間と交流し合う。</p>	<p>持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。  (知・</p>	<p>◇ハンガーマップ ◇貧困の実態 ◇世界の難民発生数と主な地域紛争 ◇地域別の将来の人口予測 ・授業前に一人一人の調査計画を把握し、個に応じた指導を行う。 ・問題提起やテーマが不明確な生徒に対しては、個別に指導する。</p>

			技)	
	<p>テーマについて、設定したいいくつかの視点に従って情報収集することができた。視点ごとに整理することで、疑問だった内容への理解が深まり、それらについての自分の考えをつくることができた。</p>			
5 レ ポ ー ト 作 成	<p>習得した知識や技能に基づき、解決すべき課題について、対立と合意,効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、過程及び結果を表現することができるとができる。</p> <p>☆世界の様々な地域の調査 ☆身近な地域の調査 ☆対立と合意 ☆効率と公正</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="502 728 1021 772" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分のテーマを上げ、しにまじめよう</div> <p>2 調査計画に従ってレポートを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象に関する事実</li> <li>・事象から読み取れたこと。</li> <li>・探究テーマと関連付けて、考えられること。</li> </ul> <p>3 中間交流を行い、ペアで互いのレポートを評価し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的であるか。(矛盾や飛躍はないか。)</li> <li>・証拠となる資料が示され、実証的であるか。</li> <li>・さらに表現を工夫できる部分はないか。</li> </ul>	<p>習得した知識や技能に基づき、解決すべき課題について、対立と合意,効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、過程及び結果を表現することができている。</p> <p>(思・判・表)</p>	<p>・世界の様々な地域の調査や身近な地域の調査でまとめたレポートを参考しながら、効果的な表現方法について振り返ることができるようにする。</p>
<p>地域紛争と難民について調査し、先進国で生活する一人の地球市民として、自分ができることについての考えをもつことができた。わかりやすく問題提起するためには、現在地域紛争の件数や難民の数が分かる図を作成し、それらの紛争が起きた理由や難民の生活の現状について説明することが必要であると考えた。データだけでなく、実際に現地で難民を救う活動をする人のコメントを加えることで、より具体的な内容にしていく。その上で、地域紛争と難民問題に対する自分の考えを論じていきたい。</p>				

<p>6 レ ポ ー ト 発 表 交 流 会</p>	<p>習得した知識や技能に基づき、解決すべき課題について、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、判断して、過程及び結果を表現することが</p>	<p>1 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>レポート交流会を通して、持続可能社会の形成のために自分ができることについて考えよう。</p> </div> <p>2 グループでレポートの交流を行う。 ・論理的であるか。(矛盾や飛躍はないか。) ・証拠となる資料が示され、実証的であるか。 ・質疑応答、感想交流を行う。</p> <p>3 学級全体で、単元を貫く課題についての意見交流を行う。</p> <p>4 単元のまとめを記述する。</p>	<p>持続可能社会の形成のために自分ができることについて考えを深めることができている。</p> <p>(思・判・表)</p>	<p>・仲間の発表内容から、自分の考えとの共通点や相違点を見だしながら聞くことを助言し、考えを深めることができるようにする。</p>
	<p>とができる。</p> <p>交流会を通して、持続可能社会の形成のために自分ができることについて考えを深めることができる。</p>	<p>交流会を通して、様々な課題に対して、自分たちができる解決方法がたくさんあることがわかった。同じテーマで考えていても、探究の視点や、効率・公正の立場の違いによって、生み出される解決方法もちがうことがわかり、自分の考えもさらに深まった。それらに一つでも多く取り組んでいくことで、より良い社会を形成していかななくてはならない。</p>		